

九条塔南だより

学校教育 目標

心豊かにたくましく 夢や希望に向かう子どもの育成
～つながろう つなげよう 九条塔南の子～

学校評価集計結果【児童へのアンケート】 令和3年12月実施

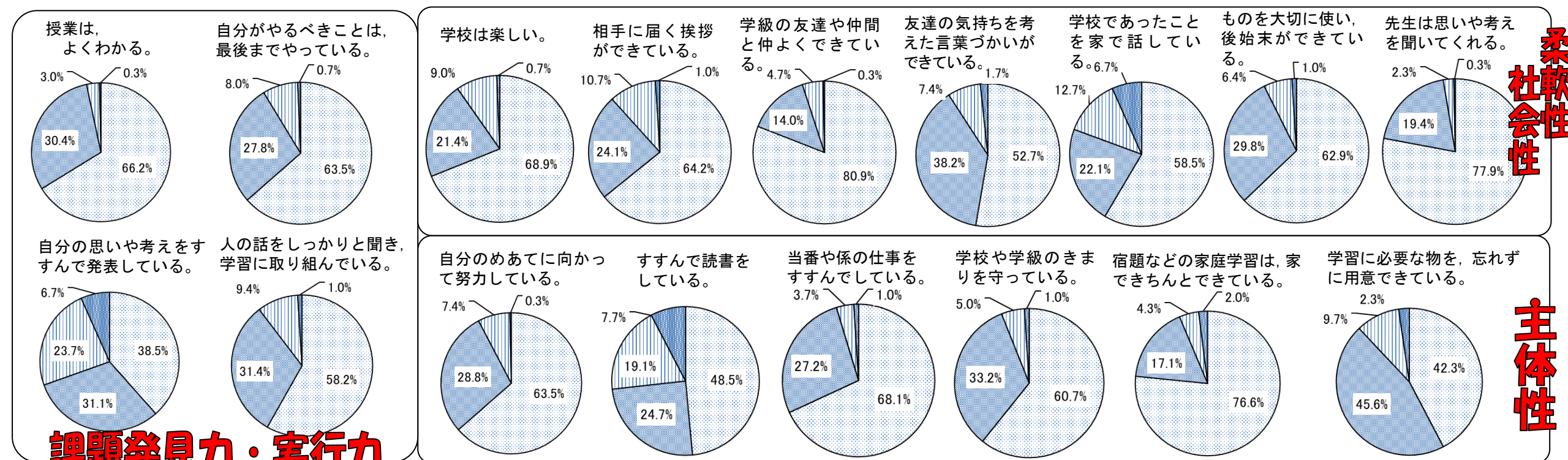
令和4年2月24日

京都市立九条塔南小学校
校長 岡本 圭司

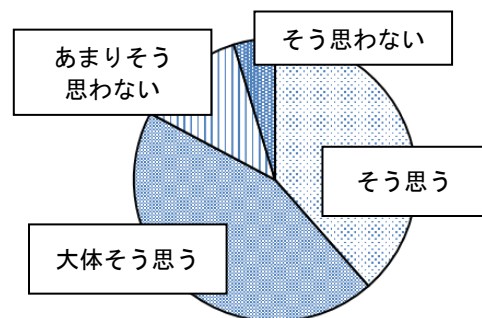
後期学校評価アンケートの集計結果をお知らせします。

12月に実施しました、「学校評価アンケート」にご協力いただきありがとうございました。
集計の結果をお知らせします。

学校評価は、学校家庭が相互に高め合うことを目的とし、よりよい学校づくりのため行っています。今年度は、学校教育目標の達成を目指し、「つながるための『柔軟性』『社会性』」「つながりを広げる『課題発見力』『実行力』」「つながりを広げるための『主体性』」の5つの力の育成を目指し、教育活動に取り組んでいます。この3つキーワードを中心に、児童・保護者へのアンケート結果をまとめましたのでご報告いたします。



円グラフの見方



考察【児童へのアンケートについて】

- ・前期に引き続き、「授業はよくわかる」「人の話をしっかりと聞き、学習に取り組んでいる」の項目については、9割以上の肯定的な意見が見られます。子どもたち一人ひとりが、学習のめあてを意識し、課題解決に向かって取り組んでいく姿勢が身についてきている様子がうかがえます。また、GIGA 端末を活用した学習にも慣れ、自分の考えをまとめたり、情報を交換し合いながら話し合いを深めていく様子も多くみられるようになってきました。自分の思いや考えを進んで発表する様子についてはまだ課題が見られますので、考えを交流したり、発表したりする場を積極的に設け、表現する力を育てていけるように、教育活動を進めていきたいと思います。
- ・「学校や学級の決まりを守っている」「宿題などの家庭学習は家できちんとできている」「学習に必要なものを忘れずに用意できている」の項目が、前期よりも向上しています。規律を守り、学習の習慣が身についてきている児童が増えてきていることが分かります。規則や約束を守ることは、自分や相手を大切に思うことにもつながります。また学習習慣の確立は、生涯学習の上でも大切なことになります。ただ決められたことを守るだけではなく、「なぜ守らなければならないのか」など、約束や決まりの意味について考えながら行動できる力を身に付けていけるよう、今後も引き続き指導・支援を行っていききたいと思います。ご家庭でも、ぜひ生活習慣や学習習慣の確立に向け、お声掛けをお願いいたします。

学校評価集計結果【保護者へのアンケート】令和3年12月実施

保護者として



子どもは、楽しく学校生活を送っている。	
重要度	実現度
6.8	5.8
ニーズ度	
15.0	

子どもは、家で進んで読書をしている。	
重要度	実現度
5.8	3.6
ニーズ度	
25.5	

子どもは、明るく元気なあいさつができています。	
重要度	実現度
6.6	5.1
ニーズ度	
19.1	

子どもは、自学自習の習慣が身についている。	
重要度	実現度
6.4	4.7
ニーズ度	
21.1	

子どもは、誰とでもなかよくできている。	
重要度	実現度
5.8	5.4
ニーズ度	
15.1	

子どもの姿から



学校の様子について



授業は、分かりやすく工夫されている。	
重要度	実現度
6.7	5.7
ニーズ度	
15.4	

子どもたち一人ひとりが大切にされ、認められる学校になっている。	
重要度	実現度
6.8	5.6
ニーズ度	
16.3	

学校は、おたよりやホームページなどで学校の様子を積極的に伝えている。	
重要度	実現度
5.6	5.8
ニーズ度	
14.3	

気になることがあれば、気軽に学校に相談できる。	
重要度	実現度
6.7	5.6
ニーズ度	
16.1	

考察【保護者へのアンケートについて】

- ・「学校は、おたよりやホームページなどで学校の様子を積極的に伝えている」「気になることがあれば、気軽に学校に相談できる」の項目について、前期よりも数値が向上しています。コロナ禍の中で、学校に来校していただく機会が少なくなっていますが、さまざまな方法で学校の様子を保護者の方々に知ってもらうことができていたのではないかと思います。また、保護者の皆様にとって学校が気軽に相談できる場と捉えていただけていることも伺えます。学校と保護者とが連絡をしっかりと取り合い、子どもたちへのかかわりを共に考えることで、子どもたちがより安心して生活することができます。今後も、保護者や地域の方との連携を密に取りながら、教育活動に取り組んでいきたいと思ひます。
- ・自由記述からは、塔南スポーツフェスティバルやきらきら集会などを通して「子どもたちの成長を実感できた。」という言葉が多くいただきました。「今しかできないことがいっぱいある」とのお声もいただきました。子どもたちは、日々の学習だけではなく、様々な行事や地域との交流など、人やものごととのつながりの中で成長していきます。多くの場で行事等の中止や縮小が相次いでいますが、子どもたちの成長につながる場を大切にし、「どうすれば実施できるのか」を考えながら、今後も行事等を実施していけるようにしたいと思ひます。

保護者アンケート集計結果の見方

点数が高いほど、保護者の方が「大切だ」と考えていることを意味します。（最大7点）

重要度

点数が高いほど、保護者の方が「子どもの姿から実現できている」と感じています。（最大7点）

実現度

保護者の方が「大切だ」と思っている、実際には「実現できていない」と感じている場合に高い点数が出ます。そのため、点数が高いほど、理想と現実に差があり、課題のある状態であることを意味しています。

ニーズ度

学校関係者による評価

- ・2年間にわたり、コロナ禍の中での対応は、子どもたちも先生たちも大変だったと思う。このような社会の中でも、子どもたちはよく頑張っていると思う。学校だけではなく、家庭でもこれまでより制約が多くなっているにもかかわらず、自分たちなりに目標を立て、いきいきと活動している様子が見られた。
- ・塔南スポーツフェスティバル、きらきら集会、修学旅行など、コロナ禍の中でも思い出に残る行事に取り組んだことで、達成感を味わうだけではなく、様々な人の努力に触れ、感謝の気持ちも高まったのではないかと思います。忘れられない思い出もできたと思う。